記載要項

　研究業績を下記の様に区分し，上から順に通し番号を付けて研究業績目録に列記してください。その際，自身の氏名にアンダーラインを付けてください。研究業績記載後に研究業績目録最初の表に数値を記入してください。

1．査読有の欧文学術論文

・査読有の欧文学術論文の総論文数と筆頭著者論文数を記入してください。

・次に，著者名，題名，論文掲載誌名（略誌名可），掲載年（西暦），巻，ページ（始―終）を，最新の業績から遡って記載してください。以上の項目が書かれていれば，項目の順序を入れ替えても結構です。

・査読有の欧文学術論文であれば掲載区分（原著，ノート，総説等）は問いません。採択未確定の論文は記載しないでください。博士論文（投稿論文と別に執筆したもの）は，3．の査読無の論文に入れてください。

・自身が単一著者，筆頭著者（筆頭著者相当を含む）の場合は，通し番号の左に○を付けてください。自身が筆頭著者ではなく責任著者である場合は，通し番号の左に●を付けてください。ただし筆頭著者相当及び責任著者は，論文中にその旨が記述してある場合に限ります。

・自身が筆頭著者相当又は責任著者ではなく，自身が主指導した大学院生の筆頭著者論文で2番目の著者になっている場合は，通し番号の左に△を付けてください。この際，主指導したことを客観的に証明できる書類等を提出して貰うことがあります。

・論文掲載誌のJournal Impact Factor（JIF：クラリベイト社JCRの公表値に限る）を各論文の最後に記載してください。その際，最新のJIFを記載してください。

2．査読有の和文学術論文

査読有の和文学術論文を1．の形式で記載してください。

3．査読無の学術論文

査読無の欧文及び和文論文を1．の形式で記載してください。査読無の総説はここに記載してください。

4．著書

最初に総著書数と欧文著書数を記入してください。次に各著書について著者名，題名，出版社，出版都市，出版年（西暦）等の項目を最新の業績から遡って記載してください。以上の項目が記載されていれば，項目の順序を入れ替えても結構です。

5．Proceedings

アブストラクトを除いた欧文と和文のproceedingsを1．の形式で記載してください。査読有の場合は，各proceedingsの最後に（査読有）と付け加えてください。

6．学術集会等での発表・招待講演

国際学術集会においては，共同発表者を含む発表者全員の氏名，演題名，研究集会名，開催場所，開催年（西暦）を最新の業績から遡って記載してください。その際，通常の研究発表と招待講演（特別講演やシンポジウムの発表等を含む）に分けて記載してください。国内学術集会においては，招待講演（特別講演やシンポジウムの発表等を含む）だけ列記し，通常の研究発表の列記は不要です。国内学術集会における通常の研究発表は研究業績目録最初の表に数値だけ記入してください。

7．科学研究費等の外部資金獲得状況

科学研究費等の公的資金とその他に分けて，研究費ごとに，研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名），獲得年（西暦）と期間，研究課題名，研究代表者と研究分担者の別，研究経費（直接経費）を最新の業績から遡って記載してください。以上の項目が記載されていれば，項目の順序を入れ替えても結構です。

8．その他

特許，受賞等，必要事項をもれなく記載してください。

　（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

研究業績目録

氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| |  | | --- | | ■査読有の欧文学術論文数  --- 計　　編，うち筆頭（筆頭著者相当を含む）又は責任著者　　編  ■査読有の和文学術論文数  --- 計　　編，うち筆頭（筆頭著者相当を含む）又は責任著者　　編  ■査読無の学術論文数 --- 計　　編，うち筆頭（筆頭著者相当を含む）又は責任著者　　編  ■著書 --- 計　　編，うち欧文　　編  ■Proceedings  ・欧文proceedings --- 計 編，うち筆頭 回  ・和文proceedings --- 計 回，うち筆頭 回  ■学術集会等での発表・招待講演  ・国際学術集会の招待講演 --- 計 回  ・国際学術集会の通常の研究発表 --- 計 回，うち筆頭 回  ・国内学術集会の招待講演 --- 計 回  ・国内学術集会の通常の研究発表（数値の記入のみで，発表毎の列記は不要）  --- 計 回，うち筆頭 回  ■科学研究費等の外部資金獲得状況  ・科学研究費等の公的資金 --- 計 回，うち研究代表者 回  ・その他の外部資金--- 計 回，うち研究代表者 回 |  |  | | --- | | ○：自身が単一著者，筆頭著者（筆頭著者相当を含む）の場合  ●：自身が筆頭著者ではなく責任著者である場合  △：自身が筆頭著者相当又は責任著者ではなく，自身が主指導した大学院生の筆頭著者論文で2番目の著者になっている場合 |   1．査読有の欧文学術論文  【記載例】  ●1. Fukui A, Kanazawa B, Toyama C. Title of paper. ***Journal Name***. 2016;28:218-24. JIF: 4.5.【自身（下線）が筆頭著者ではなく責任著者の場合は●】  ○2. Kanazawa B, Toyama C, Fukui A, Title of paper. ***Journal Name***. 2012;15:230-8. JIF: 3.1.【自身（下線）が筆頭著者の場合は○】  ○3. Toyama C, Kanazawa B, Fukui A, Title of paper. ***Journal Name***. 2010;2:28-32. JIF: 1.5.【自身（下線）が筆頭著者相当の場合は○】  △4. Fukui A, Kanazawa B, Toyama C, Title of paper. ***Journal Name***. 2009;18:19-21. JIF: 3.9.【主指導した大学院生が筆頭著者で，自身（下線）が筆頭著者相当又は責任著者でなく2番目の著者の場合は△】  5. Toyama C, Fukui A, Kanazawa B, Title of paper. ***Journal Name***. 2014;45:11-8. JIF: 2.4. 【上記以外は通し番号左のマーク無し】      2．査読有の和文学術論文          3．査読無の学術論文        4．著書        5．Proceedings  ・欧文proceedings      ・和文proceedings      6．学術会等での発表・招待講演  ・国際学術集会の招待講演      ・国際学術集会の通常の研究発表      ・国内学術集会の招待講演      7．科学研究費等の外部資金獲得状況  ・科学研究費等の公的資金        ・その他の外部資金    8．その他 |

【必要に応じてページを追加してください】